２０１７年（平成２９年）１月２２日　日曜日

デーリー東北新聞　１２面　掲載

第66回 スケートインターハイ

栃木

赤坂（八戸西）12位

スピードスケート

男子1000㍍

①久保向希（北海道・白樺学園）1分12秒39 ②堀川大（北海道・白樺学園）1分13秒18 ③岩佐（北海道・帯広南商）1分13秒43 ④小島（長野・屋代）1分13秒99 ⑤原（長野・佐久長聖）1分14秒46 ⑥山口（北海道・帯広農）1分15秒72 ⑦榊原（北海道・帯広南商）1分16秒58 ⑧松津（埼玉・秀明英光）1分16秒98 ⑨赤坂仁（八戸西）1分18秒31 ⑩下舘信司（八戸西）1分19秒39 ⑪木村尚貴（八戸商）1分21秒39 ⑫松本匡平（八戸学院光星）1分22秒66 ⑬小林大悟（八戸学院光星）1分24秒95

女子1000㍍

①長崎叶和子（北海道・池田）1分24秒67 ②宇佐見（北海道・帯広農）1分25秒86 ③而角（長野・東海大諏訪）1分26秒02 ④酒井（北海道・白樺学園）1分26秒04 ⑤松本（長野・伊那西）1分26秒22 ⑥河島（北海道・釧路江南）1分26秒23 ⑥松隈（北海道・帯広南商）1分26秒23 ⑧木田（福島・郡山商）1分26秒61 ⑨尾崎里以真（八戸西）1分31秒82 ⑩加賀ひかり（八戸西）1分32秒57 ⑪岡堀有希（名久井農）1分45秒16

女子3000㍍

①吉村優那（北海道・帯広南商）4分28秒54 ②鈴木（山形・山形中央）4分33秒74 ③ウィリアムソン（山形・山形中央）4分34秒87 ④小山（長野・長野東）4分35秒11 ⑤熊谷（岩手・盛岡農）4分35秒22 ⑥土屋（長野・佐久長聖）4分36秒53 ⑦新田（北海道・池田）4分37秒14 ⑧小林（山梨・帝京三）4分39秒51 ⑨杉村真唯（八戸西）5分7秒35 ⑩根本明日香（八戸学院光星）5分7秒49

―― 第3日

第66回全国高校スケート・アイスホッケー選手権（スケートインターハイ）第3日は21日、栃木県日光市と宇都宮市でスピード、アイスホッケー、フィギュアの3競技を実施した。青森県勢はアイスホッケーで工大一が2回戦で武相（神奈川）と対戦、4―0で下し8強入り。スピードの男子1000㍍は赤坂仁（八戸西）の12位、女子300㍍は杉本真唯（同）の34位がそれぞれ県勢最高だった。第4日の22日はスピード男子1万㍍での山本大史（八戸西）が頂点を狙う。アイスホッケーは準々決勝で工大一が釧路江南（北海道）と激突、勝てば同日行われる準決勝に臨む。フィギュア女子は廣谷帆香（工大一）、大澤陽（三沢）、ギルフォイル・セレネ（同）がショートプログラムに臨む。

（林泰輔、藤村大地）

自己ベストにも不満

○…女子1000㍍で県勢最高の32位だった尾崎（八戸西）。屋外での自己ベストを1秒弱縮めたが「第1コーナー出口でバランスを崩したし、氷を（刃で）うまく押せなかった」と内容には納得いかなかった様子。

タイムはまずまずながら「（ポイントの入る）24位以内に入り、学校対抗に貢献したかった」と悔しさをあらわにした。

目標に届かず

○…女子3000㍍には、青森県から根本明日香（八学光星）と杉村真唯（八戸西）がエントリー。2人とも「5分を切る」と目標を設定したが、5分7秒台にとどまった。

2年の根本は昨年から悩まされてきた腰痛と闘いながら、今夏はウエートトレーニングを控えるなどして調整してきた。「言い訳にしたくない」としつつ、22日以降のレースに向け「確実にベストを出せるよう、痛みと相談しながら頑張る」と意気込んだ。

3年の杉村は今季、受験のため10月中旬から11月末まで練習に参加できずシーズンに臨んだ。望む結果は出なかったが「最後にインターハイに出られて良かった。大学で勉強し、将来は競技の指導者になりたい」と表情は晴れやかだった。

デーリー東北新聞社提供